

身近な暮らしから 生物多様性を守る

今、私たち日本人は衣食住の多くを他国の資源に頼って暮らしています。
一方、耕作放棄などにより、食料の生産力は落ち、里山の荒廃が問題になっています。
この矛盾したライフスタイルを見直し、地元の自然を循環利用して暮らすことが、日本ばかりか地球の生物多様性の保全につながっていくのです。

私たちは、自然の中のつながりに支えられて生きています。

今、生き物たちがかつてないスピードで野山や小川から消えようとしています。

私たちが、将来も安心して暮らすためには、

自然の中のさまざまな生き物を守っていく必要があります。

そのために、私たちにできることは何でしょうか。

毎日の生活の中で私たち一人ひとりが「生物多様性」を意識することが、

未来のために大切なものを残すことになるのでは…。

こんな
ところから
はじめよう

守る!

- 魚・虫を含めペット等は最後まで面倒を見て、決して野外に放さない。
- 野生動物にエサを与えたり、むやみに触れない。
- 安易な放流や移植はしない。

活かす!

- エコツーリズムに参加してみよう。
- 間伐材や県産材を使った製品を選択する。

考え続ける!

- この地域にとって「好ましい自然」とは何かを考えてみる。